



青森県遊技業協同組合
「高齢者対象の特殊詐欺防止用キャラクター
『サギかもくん』着ぐるみ等の贈呈」事業



青森県遊技業協同組合
理事長
大西康弘さん



振り込め詐欺被害防止キャラクター
「サギかもくん」の着ぐるみ

親しみやすい着ぐるみで
特殊詐欺被害防止に貢献

特殊詐欺を防止するため着ぐるみを制作

テレビや新聞などで連日のように報道されているように、全国的に被害が後を絶たない振り込め詐欺などの特殊詐欺事件。警察庁の発表によれば、昨年の認知件数は13371件、被害総額は559億4354万円にのぼっている。青森県でも、2012年から2013年にかけて、その認知件数が39件から72件とほぼ倍増、被害額も1億2718万円から2億8768万円と倍増以上となった。

青森県警察本部では、振り込め詐欺被害の防止を呼び掛けるため、生活安全企画課が2008年に「サギかもくん」というキャラクターをデザインし、ポスターやチラシに使用してきた。しかし、被害が拡大するのを受け、青森県遊技業協同組合（以下、青遊協）、および青森県遊技業防犯協会（以下、防犯協）では、被害防止の広報活動のさらなる活発化に役立ててほしいと、昨年、サギかもくんをモチーフにしたかわいらしい着ぐるみを制作し、青森県防犯協会連合会に贈呈した。

昨年5月19日に県警察本部で開かれた贈呈式では、身長175cmのサギかもくんが、「その話、詐欺かも！」と書かれたタスキをかけて登場。贈呈した青遊協の大西康弘理事長は、「このサギかもくんの着ぐるみを通じて、振り込め詐欺が広く知られるようになってほしい」とコメント。一方、贈られた側の県防犯協会連合会の井畑明男会長は、「着ぐるみにすると目に留まりやすくなる。振り込め詐欺をより身近な犯罪と感じてもらえるきっかけになれば」と話した。なお、この贈呈式の模様は、地元の民放テレビ局（青森放送、青森テレビ、青森朝日放送）各局で放映されたほか、読売新聞や地元紙でも大きく取り上げられた。

イベントや広報活動に大活躍のサギかもくん

昨年10月2日には、県内の野辺地地区金融機関防犯協会が窓口利用者への声かけなどを積極的に行い、被害の未然防止に努めるために「野辺地地区振り込め詐欺防止隊」を結成したが、その結成式に着ぐるみのサギかもく



野辺地地区振り込め詐欺防止隊の結成式に登場したサギかもくと防犯協から送られたのぼり旗



110番の日のイベントでカラーガード隊と一緒にのサギかもくん

橋夕佳さんを迎えて行われたものだが、会場には県警キャラクターの「アピー君」やパトカーとともに、サギかもくんも登場。多くの来場者に囲まれ、その人気ぶりがうかがえた。

さらに、今年1月10日には、サンロード青森で開催された県警察本部主催の「110番の日」のイベントに、サギかもくんが登場。県警察音楽隊やカラーガード隊と一緒に、来場者に特殊詐欺の未然防止を訴えた。イベント会場には、「その話、詐欺かも！」と大書されたのぼり旗30本も展示されたが、こののぼり旗は青遊協が制作して、県防犯協会連合会へ寄贈したものである。

サギかもくんの着ぐるみは、今後も青森県内で行われる特殊詐欺被害防止のためのイベントや広報活動に登場する予定だという。そのかわいらしい姿が青森県民に広く認知されるとともに、特殊詐欺の被害が少しでも減ることを願わずにはられない。青遊協としても、こうした活動を積極的にバックアップしていくことで、安心・安全な地域づくりに協力していくことにしている。

んが登場。合わせて防止隊への協力として、防犯協上十三・下北支部からののぼり旗や腕章が贈られた。

また、10月19日にイトーヨーカ堂青森店で開催された青森警察署・青森地区防犯協会主催の防犯広報活動に対して、防犯協では協賛金10万円を寄贈し、後援した。この防犯広報活動はタレントの古坂大魔王や歌手の大